

第12回 全日本

学生フォーミュラ 大会レビュー



ICV総合
優秀賞
1位

名古屋大学 待望の初優勝!

- 2位 京都大学
- 3位 同志社大学
- 4位 豊橋技術科学大学
- 5位 京都工芸繊維大学
- 6位 東海大学



本大会となり2年目のEV
静岡理工科大学が二連覇!

GREETINGS

ご挨拶 | 2014 Student Formula Japan

発刊の辞

「第12回全日本 学生フォーミュラ大会」は、秋雨前線の影響で天候が危ぶまれる中の開催となりました。大会4日目には朝から雷雨に見舞われ審査開始を2時間遅らせることになりましたが、結果的にスケジュールどおりに進行、終了いたしました。

今年の大会は、国内外から96チームのエントリーがあり、書類選考やシェイクダウン証明を通過し、最終的に大会出場に至ったのが86チームでした。

大会の結果は、名古屋大学が初優勝、第2位が京都大学、以下、同志社大学、豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、東海大学という結果となり、今年も中部、関西勢が上位を占める結果となりました。

また、大会参加者数は、延べ約1万5千人に迫り、過去最高となりました。多くの皆様にご来場いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

本大会は、「日本のものづくり」の次代を担う人材を育成する活動として2003年にスタートして以来、すでに多くの卒業生が自動車産業をはじめとするものづくりの第一線で活躍しはじめています。1年間の努力、活動のプロセスは皆さんの人生にとって何にも増して得難い貴重な経験であったと思います。この経験を踏まえて、次代を担うエンジニアになっていただくことを願ってやみません。

私自身、自動車技術会会長として初めて本大会を見させていただきましたが、

学生の皆さんの目の輝き、また、熱い心で車づくりに取り組んでいる姿を拝見し、感動いたしました。そして、我が国の自動車産業の発展の一翼を担うと言っても過言でない、この全日本 学生フォーミュラ大会を今後も発展させていかねばならないと確信いたしました。

最後になりましたが、本大会の開催・運営に際し、後援、協賛、ならびにご支援をいただいた産学官各方面の皆様、多大なご協力をいただきました地元の静岡県をはじめ、掛川市、袋井市の関係者の皆様、また、大会スタッフの派遣にご協力いただきました企業、大学関係者の皆様、スタッフの皆様方に、主催者代表として心より厚く御礼申し上げます。



公益社団法人 自動車技術会
会長

加藤 光久

Mitsuhsa Kato



2014 Student Formula Japan CONTENTS

第12回全日本 学生フォーミュラ大会 目次

9.2(TUE) DAY 1 | 9.3(WED) DAY 2 | 9.4(THU) DAY 3 | 9.5(FRI) DAY 4 | 9.6(SAT) DAY 5

第1部 レビュー

発刊の辞 公益社団法人 自動車技術会 会長 加藤 光久	2
目次	3
主催・後援・協賛・大会スタッフ	4
大会スポンサー	5
受賞チーム表彰	6
大会概要/審査概要	7
大会スケジュール	8
最優秀賞受賞校解説レポート	
最優秀デザイン賞 大阪大学	9
最優秀プレゼンテーション賞... 名古屋大学	11
最優秀コスト賞 同志社大学	13
第12回全日本 学生フォーミュラ大会を振り返って 大会実行委員会委員長 小林 正朋	15
審査講評	
車検イベント 松本 保志	16
静的イベント 高井 喜一郎	16
動的イベント 中澤 広高	17
コスト審査 鈴木 健	17
プレゼンテーション審査 沢田 護	18
デザイン審査 長谷川 淳一	18
EV審査 玉正 忠嗣	19
参加チームクローズアップ トヨタ名古屋自動車大学校	20
フォトダイアリー	22
フォローアッププログラム	28
第12回大会を終えて 大会委員長 吉貴 寛良	30

第2部 大会記録集

出場校チームレポート	31	No.43 近畿大学	73
No.1 京都大学	32	No.44 岐阜大学	74
No.2 大阪大学	33	No.45 千葉大学	75
No.3 同志社大学	34	No.46 新潟大学	76
No.4 名古屋大学	35	No.47 福井大学	77
No.5 京都工芸繊維大学	36	No.48 埼玉工業大学	78
No.6 横浜国立大学	37	No.49 金沢大学	79
No.7 日本自動車大学校	38	No.50 東京大学	80
No.8 慶應義塾大学	39	No.51 東京電機大学	81
No.9 東京理科大学	40	No.52 崇城大学	82
No.10 豊橋技術科学大学	41	No.53 山口東京理科大学	83
No.11 東海大学	42	No.54 鳥取大学	84
No.12 山梨大学	43	No.56 静岡大学	85
No.13 名古屋工業大学	44	No.57 ホンダテクニカル カレッジ 関西	86
No.14 東京都市大学	45	No.58 明星大学	87
No.15 宇都宮大学	46	No.60 摂南大学	88
No.16 大阪市立大学	47	No.61 静岡工科大学自動車大学校	89
No.17 大阪産業大学	48	No.62 岡山理科大学	90
No.18 広島大学	49	No.64 Institut Teknologi Sepuluh Nopember	91
No.19 立命館大学	50	No.65 VIT UNIVERSITY	92
No.20 東京農工大学	51	No.66 北九州市立大学	93
No.21 上智大学	52	No.67 富山大学	94
No.22 工学院大学	53	No.68 広島工業大学	95
No.23 トヨタ名古屋自動車大学校	54	No.69 東京工科大学自動車大学校 世田谷校	96
No.24 ものつくり大学	55	No.70 Fr Conseicao Rodrigues College of Engineering (Mumbai University)	97
No.25 茨城大学	56	No.71 Prince of Songkla University	98
No.26 北海道大学	57	No.72 Harbin Institute of Technology at Weihai	99
No.27 成蹊大学	58	No.73 ホンダテクニカル カレッジ 関東	100
No.28 名城大学	59	No.76 Southern Taiwan University of Science and Technology	101
No.29 King Mongkut's University of Technology Thonburi	60	No.79 千葉工業大学	102
No.30 久留米工業大学	61	No.80 Institut Teknologi Bandung	103
No.32 神戸大学	62	No.82 Hubei University of Automotive Technology	104
No.33 芝浦工業大学	63	No.E1 静岡理工科大学	105
No.34 金沢工業大学	64	No.E2 東北大学	106
No.35 愛知工業大学	65	No.E3 神奈川工科大学	107
No.36 早稲田大学	66	No.E4 Harbin Institute of Technology at Weihai	108
No.37 岡山大学	67	No.E6 トヨタ名古屋自動車大学校	109
No.38 日本工業大学	68		
No.39 日本大学理工学部	69	審査結果	110
No.40 九州工業大学	70	集合写真/会場図	111
No.41 大阪工業大学	71		
No.42 静岡理工科大学	72		

Organizations & Officials of the Competition

主催・後援・協賛・大会スタッフ



主催

公益社団法人自動車技術会

後援

文部科学省
経済産業省
国土交通省
静岡県
掛川市
袋井市
掛川市教育委員会
袋井市教育委員会
掛川商工会議所
袋井商工会議所
日本自動車工業会
NHK
TBSテレビ
テレビ朝日

静岡新聞社・静岡放送
静岡朝日テレビ
静岡第一テレビ
テレビ静岡
K-mix
朝日新聞社
読売新聞社
毎日新聞社
日本経済新聞社
日刊工業新聞社
フジサンケイビジネスアィ
日刊自動車新聞社

協賛

計測自動制御学会
公立大学協会
交通安全環境研究所
国立高等専門学校機構
産業技術総合研究所
潤滑油協会
土木学会
日本機械学会
日本工学会
日本工学教育協会
日本工作機械工業会
日本ゴム協会
日本ゴム工業会
日本材料学会

日本自動車機械器具工業会
日本自動車研究所
日本自動車車体工業会
日本自動車整備振興会連合会
日本自動車タイヤ協会
日本自動車販売協会連合会
日本自動車部品工業会
日本自動車連盟(JAF)
日本私立大学協会
日本私立大学連盟
日本設計工学会
日本陸用内燃機協会
溶接学会

※50音順

大会スタッフ

【本部】

大会委員長 吉貴寛良(トヨタ自動車) 大会副委員長 杉本富史(本田技研工業) 大会副委員長 窪塚孝夫(自動車技術会)

【車検】

車検イベントキャプテン 松本保志(トヨタ自動車)

青柳宗一郎(カルソニックカンセイ) 関口昌邦(マイスタークラブ)
秋月信也(日産自動車) 関谷直樹(日本大学)
阿久根良斗(本田技術研究所) 高野修(マイスタークラブ)
油目雅史(マツダ) 千葉康智(スズキ)
天野勝弘(静岡理科大学) 富永茂(日本大学)
飯倉計彦(マイスタークラブ) 川鍋昌彦(富士テクノサービス)
飯島晃良(日本大学) 永島悠也(小野測器)
飯塚政雄(マイスタークラブ) 永田将太(トヨタ自動車)
池ヶ谷謙(コカ・コーポラ・イノベーション) 仲武聖仁(富士重工業)
石川大毅(堀場製作所) 仲野敬一(堀場製作所)
上田啓(ダイハツ工業) 中野健太郎(プリズトン)
太田竜司(日産自動車) 中山巧匠(本田技術研究所)
大坪正典(堀場製作所) 西英之(マツダ)
岡部顕史(日本大学) 早川右真(三菱自動車工業)
勝山洋司(アチソン・プラットフォーム) 原園泰信(ヤマハ発動機)
狩野康行(小野測器) 廣瀬利次(日産自動車)
木下芳人(コマツ) 堀内誠(日産自動車)
久野富士夫(マイスタークラブ) 本田篤(川崎重工業)
熊谷康治(日産自動車) 松浦孝成(堀場製作所)
黒木雅広(ヤマハ発動機) 瀧尾哲(トヨタ自動車)
黒澤達夫(マイスタークラブ) 宮正明(小野測器)
桑原弘(横浜国立大学) 三宅博(UDトラックス)
小出一登(三菱自動車工業) 宮田卓英(マイスタークラブ)
小松哲智(トヨタ自動車) 宮田敏夫(マイスタークラブ)
小宮敏也(トヨタ自動車) 森伸一(ヨコハマ・モータースポーツ)
小牟田治良(三菱自動車工業) 森勇人(カルソニックカンセイ)
酒井是貴(小野測器) 山岸康一(トヨタ自動車)
鹿内佳人(静岡理科大学) 山田滋(トヨタ自動車)
清水俊成(いすゞ自動車) 油井大地(コマツ)
杉崎俊(ダイハツ工業) 横尾貴史(コマツ)
鈴木幹男(トヨタ自動車) 龍重法(堀場製作所)

【静的審査】

静的イベントキャプテン 高井喜一郎(中部大学)

有ヶ谷英人(オイレ工業) 塚本将弘(トヨタ自動車)
市川哲也(トヨタ自動車) 土屋粒二(本田技術研究所)
出田浩之(スズキ) 戸田宗敬(サトープレス工業)
伊藤繁(三菱自動車工業) 友部貴仁(スズキ)
射延恭二(デンソー) 中沢大(日産車体)
内山耕太郎(富士重工業) 永田龍三郎(アイシン精機)
内海靖彦(ジャスコ) 中山純一(日産自動車)
及川義浩(本田技術研究所) 永山啓樹(日産自動車)
岡田大文(ダイハツ工業) 成富健一郎(オーテックジャパン)
小川登志雄(トヨタ車体) 西野誠(マツダ)
小木雅雅(愛知機械工業) 二星秀美江(富士テクノサービス)
奥田昌毅(いすゞ自動車) 野崎直輝(本田技術研究所)
音部哲郎(豊田自動織機) 萩原翔(日産自動車)
小野昌朗(東京アールアンドデー) 長谷川淳一(トヨタ自動車)
影山邦衛(ポランディア) 馬場雅之(本田技術研究所)
奥田昌毅(いすゞ自動車) 林裕人(豊田自動織機)
河西信之(トヨタ自動車) 林真佐夫(ダイハツ工業)
加藤栄次(ヤマハ発動機) 森田直樹(カルソニックカンセイ)
菊地拓史(ヤマハ発動機) 西内徹(カルソニックカンセイ)
楠本洋一(マツダ) 春川祐介(日産自動車)
國清克善(本田技術研究所) 平田貴史(日本発条)
黒田宏一(富士重工業) 深津 尋(いすゞ自動車)
神野研一(日産自動車) 二見恭太(プリズトン)
小谷崇二(三菱自動車工業) 松本孝史(川崎重工業)
後藤明之(日産自動車) 水野重人(日野自動車)
小松 寿(スズキ) 光山知宏(日産自動車)
近藤 隆(日立オートモティブシステムズ) 宮坂 宏(ポランディア)
佐藤孝之(オーテックジャパン) 宮崎知之(NSKワナー)
佐藤光彦(住友ゴム工業) 望月広光(ポランディア)
沢田 護(デンソー) 森岡 宇(日産自動車)
塩倉 聡(本田技術研究所) 森田達郎(オーテックジャパン)
渋谷弘之(いすゞ自動車) 安福敏晃(ダイハツ工業)
下澤知日(富士重工業) 吉田圭佑(重夢)
鈴木健二(マツダ) 林 江路(ゼット・エフ・ジャパン)
鈴木 健(ポランディア) 若松和夫(ポランディア)
千田俊也(ショーワ)

【動的審査】

動的イベントキャプテン 中澤広高(本田技術研究所)

青柳謙二(ヤマハ発動機) 田島史彦(プレス工業)
浅川晋宏(本田技術研究所) 谷本隆一(愛知工業大学)
足立智也(日産車体) 筑野憲人(トヨタ自動車)
石川貴大(ダイハツ工業) 張 慧(日産車体)
位田晴良(福井工業大学) 津田 顕(マツダ)
伊藤勇希(日産自動車) 常田嵩人(日信工業)
糸谷 東(ヨロス) 豊廣秀一(トヨタ自動車)
稲川 亘(ホンダテクノフォート) 長崎和仁(トヨタ自動車)
榎田智幸(三菱自動車工業) 永田裕一郎(ダイハツ工業)
大竹賢直(トヨタ車体) 中野大輝(日産自動車)
大坪祐樹(スズキ) 西尾 遼(川崎重工業)
大橋佑太(トヨタ自動車) 野村友大(本田技術研究所)
岡森貴史(トヨタ自動車) 林 英範(日産自動車)
小澤 翼(ジャスコ) 春口昂輝(デンソー)
川口将彦(日産自動車) 平山正弘(日野自動車)
木村 吏(本田技術研究所) 深沢 隼(本田技研工業)
栗巣貴文(ダイハツ工業) 藤田 淳(トヨタ自動車)
小林興次(ヤマハ発動機) 星野直樹(日産自動車)
小平剛典(マツダ) 本田靖英(日産自動車)
西城雄二(ヤマハ発動機) 米谷大輔(トヨタ自動車)
佐藤 初(本田技研工業) 前川弘孝(三菱自動車工業)
庄慶輝(川崎重工業) 牧田直希(ヤマハ発動機)
新屋泰彦(マツダ) 増田好洋(ソモス)
菅原孝志(ジャスコ) 松本秀樹(日産自動車)
鈴木浩樹(富士重工業) 松本 亮(日産自動車)
関根慎太郎(本田技術研究所) 宮本達男(トヨタ自動車)
高木悠樹(東洋ゴム工業) 三輪真理(トヨタ自動車東日本)
高野祥子(ヨロス) 村田寛久(アイシン精機)
高橋明宏(ケーヒン) 横山茂樹(トヨタ自動車)
武田純一(トヨタ自動車) 綿貫賢二(富士重工業)
武山健太(トヨタ自動車東日本)

【EV】

EVリーダー 玉正忠嗣(日産自動車)

上田貴之(マツダ) 菊池篤徳(コマツ) 高瀬清司(明電舎) 中村雅憲(中部大学) 森永圭一(東洋電機製造)
柘澤 明(本田技術研究所) 児島隆生(日立製作所) 種田良司(三菱自動車工業) 平井 齊(プロトラッド) 柳田靖人(ダイキン工業)
川元康裕(コマツ) 笹井健史(コマツ) 中村錠治(デンソー) 松崎道範(ポランディア) 行木 稔(富士重工業)

【運営】大会実行委員長 小林正朋(本田技術研究所)

秋元健太郎(ポランディア) 大久保祐子(本田技研工業) 小松新始(ポランディア) 立元恵祐(ポランディア) 橋本 優(トヨタ自動車) 三ツ井浩(日産自動車)
浅井亮輔(スズキ) 岡 秀樹(スズキ) 塚本 崇(ポランディア) 塚本 崇(ポランディア) 長谷川雅彦(アイシン精機) 南 貴士(ポランディア)
阿部翔太(神奈川工科大学) 尾神典昭(本田技研工業) 齋藤拓也(ポランディア) 柘植正邦(本田技研工業) 平井光生(ヤマハ発動機) 盛 雅裕(トヨタ自動車)
生原尚季(トヨタ自動車) 尾上雄介(スズキ) 斎藤悠介(ヤマハ発動機) 土屋高志(静岡理科大学) 平松克規(本田技術研究所) 森岡怡史(トヨタ自動車)
石川正芳(ポランディア) 加世山秀樹(本田技研工業) 坂井貴行(三菱自動車工業) 寺崎貴行(日産自動車) 平本賢一(ポランディア) 森川 将(本田技術研究所)
磯 智之(本田技術研究所) 片山政彦(デンソー) 酒井輝雄(日産自動車) 友田光彦(スズキ) 廣瀬 翔(ポランディア) 両角岳彦(ポランディア)
伊藤 潔(ヤマハ発動機) 加藤大(日産自動車) 佐藤 陽(デンソー) 徳岡介(本田技術研究所) 福田充宏(静岡大学) 山本一広(スズキ)
岩城洋平(ヤマハ発動機) 加藤幹夫(ポランディア) 更科俊平(スズキ) 中島 彩(デンソー) 豊 軒苗(スズキ) 山本 隆(デンソー)
上野 亮(ヤマハ発動機) 狩野芳郎(神奈川工科大学) 澤田 徹(スズキ) 中村 博(ポランディア) 本田康裕(国士館大学) 吉田和弘(デンソー)
宇佐美雅貴(本田技術研究所) 北山 周(ポランディア) 澤田昌寛(ヤマハ発動機) 西岡昌寛(ヤマハ発動機) 本田祐介(ヤマハ発動機)
牛山駿一(本田技術研究所) 木下幸江(ポランディア) 清水達也(ポランディア) 仁科正佳(ヤマハ発動機) 前田大典(ポランディア)
榎本啓士(金沢大学) 栗原洋平(スズキ) 庄司智和(本田技研工業) 根木島崎司(日本発条) 根原洋一(本田技研工業)
大石琢馬(本田技術研究所) 河之口敦史(マツダ) 杉本尚輝(スズキ) 野田智哉(スズキ) 増田貴裕(ヤマハ発動機)
大上悦夫(日産自動車) 小林純子(ポランディア) 鈴木光裕(ポランディア) 野村知美(デンソー) 松浦麻理子(ポランディア)

Event Sponsors

大会スポンサー



大会スポンサー

Sクラス	トヨタ自動車	
	日産自動車	
	本田技研工業	
Aクラス	マツダ	
	富士重工業	
	川崎重工業	
	シェフラー・ジャパン	
	スズキ	
	ソリッドワークス・ジャパン	
	タマディック	
	デンソー	
	日立オートモティブシステムズ	
	VSN	
	三菱自動車工業	
	ヤマハ発動機	
	Bクラス	日野自動車
		UDトラック
		アイシン・エイ・ダブリュ
アイシン精機		
アルテアエンジニアリング		
いすゞ自動車		
イータス		
エイヴィエル ジャパン		
エクセディ		
NOK		
NTN		
オートテックジャパン		
カルソニックカンセイ		
キグナス石油		
ケーヒン		
ジャトコ		
新日本特機		
住友電装		
ゼット・エフ・ジャパン		
センサータ・テクノロジーズ・ジャパン		
タイコ エレクトロニクス ジャパン		
ダイハツ工業		
TBK		
dSPACE Japan		
日産ライトトラック		
ニフコ		
日本イーエスアイ		
日本精工		
ハウス食品グループ本社		
ミットヨ		
大成社		
豊田自動織機		
三菱電機		
明電舎		
愛知機械工業		
AZAPA		
アドヴィックス		
イグス		
いすゞ中央研究所		
エイチワン		
NSKワーナー		
エフ・シー・シー		
エフティテクノ		
オイレス工業		
岡谷鋼機		
興津螺旋		
小野測器		
三五		
Cクラス	山王テック	
	JX日鉱日石エネルギー	
	JTB中部	
	ジェイテクト	
	ジーテクト	
	シーメンズPLMソフトウェア	
	榛葉鉄工所	
	住鋳潤滑剤	
	住友ゴム工業	
	ダイナテック	
	ティ・エス テック	
	東海理化	
	東洋ゴム工業	
	豊田合成	
	トヨタ車体	
	トヨタ自動車東日本	
	豊田中央研究所	
	トヨタテクニカルディベロップメント	
	トヨタ紡織	

Cクラス	日産車体
	日産テクノ
	日信工業
	日本電産エレシス
	ニッパツ
	日本ミシュランタイヤ
	日野ヒューテック
	ピーエスジー
	深井製作所
	ブリヂストン
	ポッシュ
	マグナ・パワートレイン
	三井金属アクト
	三菱自動車エンジニアリング
	武蔵精密工業
Dクラス	モビテック
	ヤンマー
	ユタカ技研
	ユニプレス
	ヨコハマ・モータースポーツ・インターナショナル
	ヨロズ
	ローマックス・テクノロジー・ジャパン
	袋井商工会議所
	愛三工業
	アイシン・エアアイ
	アイシン・コムクルーズ
	アイシン高丘
	曙ブレーキ工業
	旭テック
	アスモ
	石川ガスケット
	いすゞエンジニアリング
	白井国際産業
	内山工業
	エー・アンド・デイ
	エイ・ダブリュ・エンジニアリング
	オートテックニックジャパン
	オートデスク
	キリウ
	光明理化学工業
	ジェイアイ傷害火災保険
	ショーワ
	鈴与グループ
	ソーシン
	大気社
	大同メタル工業
	太平洋工業
	大豊工業
	タチエス
	ダッド
	榎屋
	デュージャパン
	デンソーテクノ
	東京オールアンドデー
	東京海上日動火災保険
	東京貿易テクノシステム
	東日製作所
	東洋電装
	東レ
	トヨタテクノクラフト
豊田鉄工	
トヨタモデリストインターナショナル	
西川ゴム工業	
西鉄エム・テック	
ニチリン	
日清紡プレーキ	
日本自動車部品工業会	
日本精機	
日本デルファイ・オートモティブ・システムズ	
日本ナショナル	
日本特殊陶業	
バイオラックス	
パーチャルメカニクス	
浜名湖電装	
バンドー化学	
日立産業制御ソリューションズ	
理経	
フジオーゼックス	
富士通テン	
フューチャーテクノロジー	
ブリッド	
プレス工業	

Dクラス	ベクター・ジャパン
	マグナ・シュタイヤー・ジャパン
	MathWorks Japan
Eクラス	丸紅情報システムズ
	三菱製鋼
	三ツ星ベルト
	ヤマハモーター・パワー・プロダクツ
	ユニバンス
	リクルートスタッフィング
	高田工業
	東京都自動車事業振興協会
	あねもね
	電気自動車普及協議会
	法多山名物だんご企業組合
	ホテル観世

表彰スポンサー

日本自動車工業会会長賞(完走奨励賞)	日本自動車工業会
ICV総合優秀賞	小野測器
EVクラス総合優秀賞	ダイキン工業 / 静岡県
コスト賞	デュートロン・ジャパン
デザイン賞	オートテックジャパン
プレゼンテーション賞	東洋ゴム工業
加速性能賞	住友ゴム工業
スキッドパッド賞	ヨコハマ・モータースポーツ・インターナショナル
オートクロス賞	ブリヂストン
耐久走行賞	モチュール
省エネ賞	日本ミシュランタイヤ
ルーキー賞 (ICVクラス)	ジェイアイ傷害火災保険
ルーキー賞 (EVクラス)	アルテアエンジニアリング
CAE 特別賞	アルテアエンジニアリング
最軽量化賞 (ICVクラス)	深井製作所
最軽量化賞 (EVクラス)	ゼット・エフ・ジャパン
ベスト・サスペンション賞	ニッパツ
ジャンプアップ賞	電気自動車普及協議会
EV オートクロス賞	タマディック
スポーツマンシップ賞	東京R&D
ベスト三面図賞	AZAPA
パワートレイン賞	

物品スポンサー

バスケース	堀場製作所
清涼飲料水(現物支給)	大塚製薬
	ハウス食品グループ本社

運営協力企業・学校

会場	静岡県小笠山総合運動公園
	静岡県病院協会
	静岡県看護協会
	中東遠統合医療センター
	掛川国際交流センター
	ヴィーモ
	小野測器
	コマツ
	サトープレス工業
	静岡資材
	静岡帝国警備保障
	静岡文化芸術大学
	静岡理科大学
	スズキ
	スナップオン・ツールズ
	ソモス
	中部大学
	東日製作所
	童夢
	東洋電機製造
	トヨタ自動車東富士研究所
	日本大学
	日本EVクラブ
	日本レースプロモーション
	日立製作所
福井工業大学	
ブリヂストン	
プロトラッド	
堀場製作所	
マイスタークラブ(ホンダ)	
矢崎総業	
ヤマトグローバルロジスティクス	
ヤマハ発動機	
来夢	
運営協力	

List of Team Awards



受賞チーム表彰

総合表彰

賞名	受賞校	概要	提供
経済産業大臣賞	名古屋大学	静的審査、動的審査のポイントの最も高いチーム	経済産業省
国土交通大臣賞	豊橋技術科学大学	安全技術、環境技術、新技術の評価ポイントの最も高いチーム	国土交通省
静岡県知事賞	京都大学	静的審査、動的審査(エンデュランス除く)、安全、軽量化の評価ポイントの最も高いチーム	静岡県
日本自動車工業会 会長賞 (20チーム 50音順)	茨城大学	全ての静的審査・動的審査に参加し、完遂・完走しているチーム (完走奨励賞)	日本自動車工業会
	大阪市立大学		
	京都工芸繊維大学		
	京都大学		
	King Mongkut's University of Technology Thonburi		
	工学院大学		
	神戸大学		
	静岡理科大学		
	芝浦工業大学		
	千葉大学		
	東海大学		
	東京大学		
	同志社大学		
	豊橋技術科学大学		
	名古屋工業大学		
	日本自動車大学校		
日本工業大学			
Hubei University of Automotive Technology			
ホンダ テクニカル カレッジ 関西			
名城大学			

審査別種目表彰

賞名	受賞校	提供
ICV総合優秀賞	1位 名古屋大学	小野測器
	2位 京都大学	
	3位 同志社大学	
	4位 豊橋技術科学大学	
	5位 京都工芸繊維大学	
EV総合優秀賞	1位 静岡理科大学	ダイキン工業/静岡県
	2位 東海大学	
コスト賞	1位 同志社大学	デュージャパン
	2位 大阪大学	
	3位 京都大学	
デザイン賞	1位 大阪大学	オーテックジャパン
	2位 名古屋大学	
	3位 豊橋技術科学大学	
プレゼンテーション賞	1位 名古屋大学	東洋ゴム工業
	2位 京都大学	
	3位 茨城大学	
加速性能賞	1位 茨城大学	住友ゴム工業
	2位 大阪大学	
	3位 名古屋大学	
スキッドパッド賞	1位 大阪大学	ヨコハマ・モータースポーツ・インターナショナル
	2位 京都大学	
	3位 Maejo University	
オートクロス賞	1位 大阪大学	ブリヂストン
	2位 名古屋工業大学	
	3位 京都大学	
耐久走行賞	1位 名古屋大学	MOTUL
	2位 京都大学	
	3位 豊橋技術科学大学	
省エネ賞	1位 京都大学	日本ミシュランタイヤ
	2位 名古屋工業大学	
	3位 金沢大学	

特別表彰

賞名	受賞校	概要	提供
ルーキー賞 (ICVクラス)	Hubei University of Automotive Technology	日本大会初参加のICVクラスの中で静的審査、動的審査のポイントの最も高いチーム	ジェイアイ傷害火災保険
ルーキー賞 (EVクラス)	Harbin Institute of Technology at Weihai	日本大会初参加のEVクラスの中で静的審査、動的審査のポイントの最も高いチーム	ジェイアイ傷害火災保険
CAE特別賞	1位 大阪大学	CAE技術を効果的に活用している評価ポイントの最も高いチーム	アルテアエンジニアリング
	2位 名古屋大学		
	3位 Hubei University of Automotive Technology		
最軽量化賞 (ICVクラス)	1位 Harbin Institute of Technology at Weihai	全ての審査に参加したICVクラスの中で最も軽量化車両チーム	深井製作所
	2位 名古屋工業大学		
	3位 ホンダ テクニカル カレッジ 関西		
最軽量化賞 (EVクラス)	1位 静岡理科大学	全ての審査に参加したEVクラスの中で最も軽量化車両チーム	深井製作所
	2位 京都大学		
	3位 名古屋大学		
ベスト・サスペンション賞	1位 大阪大学	サスペンション性能評価が高いチーム	ゼット・エフ・ジャパン
	2位 京都大学		
	3位 名古屋大学		
ジャンプアップ賞	1位 金沢大学	全審査参加チームのうち、前回大会比でポイントをアップさせた上位1~3位のチーム	ニコル・レーシング・ジャパン
	2位 ホンダ テクニカル カレッジ 関西		
	3位 千葉大学		
EV オートクロス賞	1位 静岡理科大学	EVクラスの中で、オートクロス審査のポイントの最も高いチーム	電気自動車普及協議会
スポーツマンシップ賞	トヨタ名古屋自動車大学校	スポーツマンシップの評価が高い3チーム	タマディック
	静岡理科大学		
	福井大学		
ベスト三面図賞	京都大学	設計行為の集大成である 図面を通じて審査員に最も多くの情報を正確に伝えたチーム	東京R&D
ベストエアロ賞	大阪大学	オートクロスまでを完走したチームの中で、レーシングカーとしてもっとも効果的な空力解析および熱流体解析を行い、実践したチーム	東京R&D
パワートレイン賞	1位 大阪大学	デザイン審査のパワートレインポイント上位10チームを対象として、オートクロス審査のポイント上位3チーム	AZAPA
	2位 名古屋工業大学		
	3位 京都大学		

運営功績感謝状

氏名	主要大会役職略歴等
秋野 裕氏	第1回~第2回大会実行委員会副委員長
大須賀 和男氏	第1回~第2回大会実行委員会委員長
三枝 信雄氏	第3回~第4回大会実行委員会委員長
加藤 幹夫氏	第1回大会ルール委員会委員長、第2回大会実行委員会副委員長

氏名	主要大会役職略歴等
伊藤 宏一氏	第2回~第9回大会ルール委員会委員長
平本 賀一氏	第5回~第6回大会実行委員会委員長
下山 修氏	第9回~第10回大会実行委員会委員長

Outline of Event

大会概要



大会趣旨

主役である学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競い、産学官民で支援して、自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材を育成する。

大会基本方針

学生に、学会として、ものづくりの機会を提供することにより、

- ① 学生の自主的なものづくりの総合力を育成する
- ② 学校教育と連携する実践的な学び場としての教育的価値を高めていくこととする。

大会運営指針

- ① 安全確保を最優先とした、ものづくり検証の場とする。
- ② 産学官民連携による運営とする。
- ③ 個人・法人の広範なボランティアによる運営とする。
- ④ 公益事業として運営する。
- ⑤ 企業の枠を超えた技術者の交流に資するため、学生フォーミュラ参加者のネットワークを構築する。

審査概要

種目Category	概要Outline	配点Point
車検Technical Inspection	【技術検査】ルールに定められた車両の安全・設計要件の適合性確認、【チルト】車両45度傾斜で燃料漏れ確認、ドライバー乗車し車両60度傾斜で転覆しないことの確認、【騒音(ICVクラスのみ)】所定の条件で排気音レベル確認(110dB以下)、【ブレーキ】4輪ブレーキ(4輪ロック)を確認・検査、【レイン(EVクラスのみ)】絶縁がされているかを確認。	—
静的審査	コストCost	100
	プレゼンテーション Presentation	75
	デザイン(設計) Design	150
動的審査	アクセラレーション Acceleration	75
	スキッドパッド Skid-pad	50
	オートクロス Autocross	150
	エンデュランス Endurance	300
	効率Efficiency	100
その他Others	車重計測、騒音・排ガス測定(ICV(ガソリン)クラスのみ)実施します。	—
合計Total Points		1000

車両の主な設計要件・安全要件

Formula SAE® 2014ルールに準拠

一般要件

- タイヤがカウルで覆われていない、オープンコクピットのフォーミュラスタイルの4輪車両
- ホイールベース1525mm以上。トレッドは、フロントまたはリアの大きい方に対して75%以上。ホイールは8インチ以上。ボディーワーク：コクピット開放部に対する要件を除き、車両前端からメインロールフープまたはファイヤーウォールに至る間のドライバーコンパートメントに開口部があってはならない。
- 横転・正突・側突時にドライバーを保護するために、フロント・リアのロールフープ、バルクヘッド前方のクラッシュゾーン、サイドプロテクション、フレームメンバー等については構造・材料など詳細を規定。ブレーキは4輪すべてに作動し、独立した2系統の液圧回路を有すること。ブレーキペダルのすば抜け時、それを検知しエンジン停止するスイッチを装備のこと。
- 拘束システム (5または6点式シートベルト)、保護用具 (ヘルメット、スーツ、手袋など)、視認性、ヘッドレスト、ドライバー脱出5秒以内、転覆安定性、防火壁、消火器等について詳細を規定。

ICV

- 4サイクルエンジンで排気量610cc以下。オリジナル設計の過給機の装着は可。リストラクター (吸気流量制限装置) の最大直径は20mm。排気音量は排気口から水平面45度、50cmの位置において所定の回転数で110dB以下。燃料タンクはメインフープとタイヤを結ぶ面の内側に装備。

EV

- 最大公称作動電圧は600VDC。
- バッテリーからの最大電力は、100msを超えて連続的に85kwより多く使わないこと、もしくは500msの移動平均値が85kwを超えないこと。
- 回生は許されるが時速5kmを超える車速で作動すること。

